

栄養機能食品です

驚異の物質アパタイトをサプリメントに！

# ApaLife

アパライフ



## 骨形成のメカニズム

### ■アパライフ(サプリメント)

ナノサイズのアパタイト(微粒子天然ハイドロキシアパタイト)とビタミンCを有効成分とした腸溶性サプリメントです。微粒子ハイドロキシアパタイトが胃では溶けずに腸まで固体のまま運ばれ、カルシウムとビタミンCが同時に体内で吸収されるサプリメントです。

### ●アパタイト(ハイドロキシアパタイト)は、

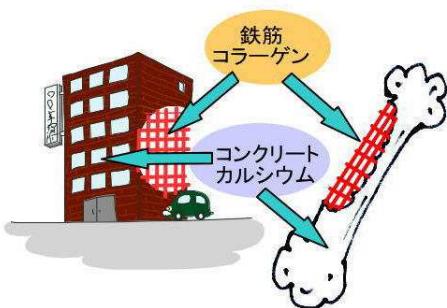
われわれの骨や歯の主要成分です。歯のエナメル質では97%が、骨では65%がアパタイトで構成されています。骨のアパタイトは人体におけるカルシウムの貯蔵庫になっています。したがって骨や歯を知るには、まずアパタイトを知らなければなりません。

### ●骨密度とハイドロキシアパタイト

私たちが摂取し吸収するカルシウムの99%は骨に取り入れられ、リン酸とともにハイドロキシアパタイトとなります。コラーゲンとハイドロキシアパタイトが骨を作っています。コラーゲン(繊維状のたんぱく質)は鉄骨、ハイドロキシアパタイトはコンクリートとなり丈夫な骨を形成します。骨再生はハイドロキシアパタイトから始まります。

このハイドロキシアパタイトの密度が  
骨量で骨密度と同じと言えるのです。

### 骨とビルディングの構造



■アパライフ  
1箱(120粒入)  
1日目安量(4粒)

骨は、絶えず新しい取り込んだコラーゲンとカルシウムで生まれ変わっています。しかし、加齢とともにコラーゲンが減少し、カルシウムを充分に沈着できなくなると起こるのが骨粗鬆症なので

骨の80%は  
無機物のカルシウムです

### 骨粗鬆症とは

骨粗鬆症とは、骨の中が軽石のようにすき間だらけになって(骨密度が低下して)腰痛や骨折しやすくなることです。

60代の女性の半数は骨粗鬆症といわれています。

骨粗鬆症を予防するにはカルシウムだけでなく4つの栄養素をバランスよく摂取することが大切です。

- ① カルシウム
- ② リン
- ③ ビタミンC
- ④ ビタミンD

- リンはカルシウムと結合し骨や歯を形成します。
- ビタミンCはコラーゲンをつくるのに必要です。
- ビタミンDはカルシウムの吸収を促します。

価格 10,000円  
税別

ピーケ・アース株式会社

神奈川県座間市入谷東1丁目14-22

電話 046-205-2454 E-mail:info@apatite.online URL:https://apatite.online

# 驚異の生体物質アパタイトによるスーパーサプリメント

栄養機能食品です

## ハイドロキシアパタイト



アパタイトは、私たち脊椎動物の骨や歯の主成分です。軟体動物であるアサリやハマグリなどの殻や腔腸動物のサンゴは、炭酸カルシウムでできています。脊椎のない動物にはアパタイトは存在しません。

脊椎動物には免疫機能があり、無脊椎動物には免疫機能がないといわれる一因がアパタイトにあると推定されます。

アパタイト研究の権威者、青木秀希博士は、アパタイトが免疫機能になんらかの役割を果たしていること、いろいろな疾患の原因は骨のアパタイトにあることさらには生命の起源にもアパタイトが大きく関わっていることなどを信じて研究をしてきました。

具体的に言えば、白血球、赤血球、リンパ球はアパタイトのある骨髄中で生成されること、アパタイトの表面でアミノ酸がきれいに配列し、縮重合反応が容易に起こること、骨や歯の異常がいろいろな疾患に直接的間接的に関係することなどが考えられます。

## 加齢と骨粗鬆症

加齢や生活習慣から来る骨粗鬆症は高齢化社会の到来とともに社会問題化しています。

加齢や生活習慣病から来る骨粗鬆症は、高齢化社会がますます進展している現在、絶対数は確実に増加しています。骨粗鬆症有病率の性・年代別分布から、男女とも年齢とともに有病率が増加し、男性より女性のほうがほぼ3倍頻度が高いと報告されています。

骨粗鬆症に限らずカルシウムは生命にとって重要な働きを担う物質です。アパタイトは骨粗鬆症等でお悩みの方々



の健康をサポートします。現在、医療問題として骨粗鬆症には有効な治療法はないように思われます。医薬品ではなく一般食品として流通できるサプリメントの登場は高齢者をはじめ健康な生活を希求する多くの方々が待ち望んでいるものです。

驚異の物質アパタイトを  
サプリメントに！

## カルシウム補給

近年、日本人のカルシウム不足を補うため、あるいは骨粗鬆症の予防や治療のために、カルシウムを添加した菓子、食品、飲料、医薬品などの需要が急激に増えました。

現在、カルシウム原料として、乳酸カルシウム、乳清カルシウム、グルコン酸カルシウム、石灰、かき殻、ほたて貝殻卵殻、牛骨、魚骨などが使われています。これらのカルシウム原料のなかで、石灰、カキ殻、ほたて貝殻、卵殻の成分は炭酸カルシウムであり、乳酸カルシウム、乳清カルシウムおよびグルコン酸カルシウムも含めてカルシウムだけを補給するものです。

一方、牛骨や魚骨はアパタイトで、リン酸カルシウムが主成分です。アパタイトは摂取しても胃酸の中和活性が低く、胃に対する刺激が少ない特徴があります。アパタイトはまた、カルシウムとリンの両方を同時に補給するもので、骨の強化には最適といえます。

さらに骨の成長や強さに効果があるミネラル類が適度に含まれているのも特徴です。



## ■アパライフの特徴

- 1)アパライフの主成分は、骨のミネラルと同じ成分のリン酸カルシウム(焼成魚骨:天然アパタイト)です。骨のカルシウムとリン酸を同時に補給します。  
一般的のカルシウム剤は炭酸カルシウムなどが主成分ですからカルシウムだけを補給することになります。  
～骨の成長や強さに効果があるミネラル類が適度に含まれ、骨の強化に最適成分。
- 2)アパライフの主成分は、リン酸カルシウムの超微粒子(ナノサイズ)です。  
～体内で吸収されやすくなります。
- 3)アパライフは胃では溶解しにくく腸で溶解するようコーティングされています。  
～腸内細菌を活性化させ、免疫力の向上が期待できます。
- 4)アパライフはビタミンCが多く含まれています。  
～皮膚や粘膜の健康維持を助けるとともに、身体の老化を抑える抗酸化作用。

## ■アパライフのポテンシャル

従来のカルシウム剤で考えられない骨形成を促進し、ビタミンCによる抗酸化作用により、いろいろな病気をひき起こすフリーラジカル(DNAや脂質といった重要な細胞分子などを損傷すること)の生成を抑制し健康維持が期待できます。

価格 10,000円  
(税別)

ピーク・アース株式会社

神奈川県座間市入谷東1丁目14-22

電話 046-205-2454 E-mail:info@apatite.online URL:https://apatite.online

骨密度を高めよう

アパライフ